



男子トイレの壁一面に描かれた富士山。カッティングシートにインクジェットでプリントした絵を張り付けている。

学校トイレの最新現場事例 2016

# 山梨県富士吉田市 下吉田第二小学校

暗く、怖かったトイレが  
大壁画でワクワクトイレに大変身

トイレが学校の特色を  
認識する場になった

学校トイレの改修に当たっては、いわゆる「5K(暗い・臭い・汚い・怖い・壊れている)の解消」をメインテーマに取り組む自治体がほとんどです。最近では、そこに自分たちの地域らしさや学校らしさを取り入れようとする動きも出てきました。

「子どもたちに少しでも快適なトイレを提供したい」

そんな思いから、平成25年度から市内の小・中学校のトイレ改修を進めている山梨県富士吉田市では、27年度に着手した小学校3校(下吉田第二小学校、明見小学校、下吉田東小学校)の改修コンセプトを「5Kの解消+明るい、楽しいトイレ」にしました。

その象徴ともいえるのが、トイレの壁面やブースのドアいっぱいにカッティングシートを使って描かれた絵です。明るい色使いで描かれた絵は、学校トイレを、

そこにいるだけでワクワクするような楽しい空間に演出しています。絵の内容は学校ごと、トイレごとに異なっています。教育委員会の担当者が、学校や地域からの聞き取りや校歌をもとに、それぞれの学校にふさわしい題材を設定したのです。

例えば、下吉田第二小学校では、校舎の窓からよく見える富士山や敷地にある松林、下吉田東小学校では中庭の花壇や校門近くにあるプラタナスが、明見小学校では周辺にある明見湖などが描かれています。それぞれの壁画には、絵の内容を説明したプレートも添えられ、子どもたちが自分の通う学校の特色を再認識する場にもなっています。

子どもたちからは「前はお化けが出そうで怖かったけれど、今はトイレが楽しい場所になった」と好評です。

今回のトイレ改修でもう一つの大きなポイントとなったのは寒冷地対策です。

「トイレで最も困っていたのは



地域の人との交流も多いことから、さまざまな人の利用を想定し、車いすの人も使えるよう洗面台の下にスペースを設けた。



音楽活動が盛んなことから、金管楽器をテーマにした絵で空間を演出。



冬季の使用に備えて、サーモスタット式のパネルヒーターを各所に設置。



出入りで子どもたちがぶつからないよう入り口は引き戸に。

冬の凍結。床はタイルで底冷えし、子どもたちがかわいそうでした。水は大量に出しっぱなしにしないと凍っていました」（下吉田東小学校 三橋毅顕校長）

「以前のトイレは湿式清掃だったため、水をまくと冬は床が凍ってしまうこともありました。滑ると危険ですから、まく量を少なくした上で掃除するなど大変でした」（下吉田第二小学校 青木誠校長）

富士吉田市は、海拔650（900m）に市街地のある高原都市。冬は寒さが厳しく、最低気温がマイナス15℃近くになる日もあります。校長先生たちが指摘するような寒冷地特有の問題点に対する対策が必須でした。

まずは、すべてのトイレを乾式化しました。また、トイレ内の配管や水栓の凍結防止のため、パネルヒーターを設置し、気温が7度を下回ると自動的に稼働するようにしました。さらに、大便器は給水を流動方式にして、常に少量の水を流すことで凍結を防止しています。冬の間、これまで開けたままだった水栓は、使うときだけ水が流れる自動水栓に変えました。

「すでに改修が終わっている

#### DATA

- 竣工年月 / 2015年9月
- 所在地 / 山梨県富士吉田市 緑ヶ丘2-8-2
- 児童数 / 507名(2015年)
- 施主 / 富士吉田市教育委員会 学校教育課
- 設計 / 万陽
- 施工 / 渡秀工業、ヨコウチ電気、高野熱設備
- 工事監理 / 富士吉田市都市基盤部建築住宅課



学校では、改修前に比べ、水道代がかなり低く抑えられています」（富士吉田市教育委員会 学校教育課 武藤智恵子 課長補佐）

児童の家庭に合わせ、快適性を重視して全洋式化

器具の選定に関しては、子どもたち本位に「衛生性」と「使いやすさ」を重視しました。

まず、便器は家庭に合わせて洋式に。これについては、既存トイレスペースで洋式化すると、ブリスの広さをやや広めに確保する必要があることから、全体の便器数が減るのではない

ケガをした児童や高齢者の利用を視野に入れ、各階に手すり付きブースを設置。便器はすべて温水洗浄暖房便座を採用。





# 下吉田東小学校

三世代家族の子が多く通う  
新しいトイレは保護者からも絶賛



真っ暗だったトイレが採光と絵で「明るく」大変身。



高学年女子トイレの壁画は、校歌に歌われているプラタナスの絵を題材に。



男子トイレ内。これまでは一つもなかった多機能トイレを設置。



高学年男子トイレ。幅広い用途に対応して、洗面台は水をためられるタイプ。

## DATA

- 竣工年月 / 2015年9月
- 所在地 / 山梨県富士吉田市  
下吉田9-21-1
- 児童数 / 323名 (2015年)
- 施主 / 富士吉田市  
教育委員会学校教育課
- 設計 / 木村建築設計事務所
- 施工 / 的場工務店、勝保電気、  
柏和設備
- 工事監理 / 富士吉田市都市  
基盤部建築住宅課



# 明見小学校

創立139年、明見地域唯一の小学校  
地域の人々の使用にも配慮



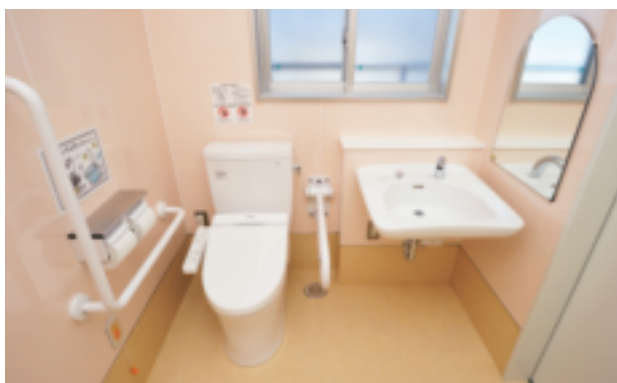
自動洗浄小便器で衛生面に配慮。ここでもパネルヒーターは標準仕様。



高学年女子トイレの手洗い。「豊かな自然」をテーマにした壁画が。



低学年男子トイレ。カバンなど荷物が置けるベンチをトイレ内に設置。



ケガをした子どもの利用等を想定した多機能トイレ。

## DATA

- 竣工年月 / 2015年9月
- 所在地 / 山梨県富士吉田市  
小明見2113
- 児童数 / 439名 (2015年)
- 施主 / 富士吉田市  
教育委員会学校教育課
- 設計 / 高部設計
- 施工 / 平山建設工業、三枝電気、  
三協設備
- 工事監理 / 富士吉田市都市  
基盤部建築住宅課



# 改修前の様子



下吉田第二小学校

とにかく暗くて冬は寒かった。トイレをがまんしている子も多かった。



明見小学校

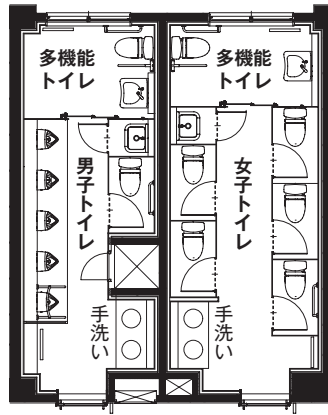
においがきつく、掃除に時間がかかった。簡易洋式便器が一つで、あとは和式だった。



下吉田東小学校

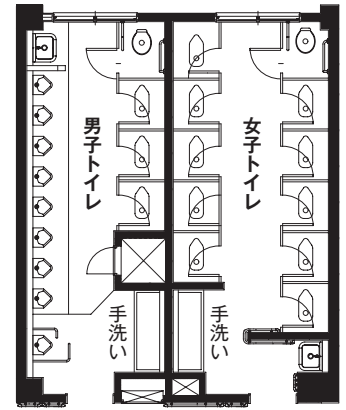
古くて掃除しづらかったのか、しばしばトイレトペーパーが散らかっていた。

# 改修後



図面は下吉田第二小学校

# 改修前



## 大便器はすべて洋式化し、床は乾式に

### 富士吉田市立小・中学校 トイレ整備計画 (下記以外の2小学校は整備済み)

学校名	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年
明見中学校	実施設計	工事				
下吉田東小学校		実施設計	工事			
明見小学校		実施設計	工事			
下吉田第二小学校		実施設計	工事			
富士小学校			実施設計	工事		
吉田小学校			実施設計	工事		
下吉田中学校			実施設計	工事	(当初工事予定)	
吉田中学校				実施設計	工事	(当初工事予定)
富士見台中学校				実施設計	工事	(当初工事予定)

工事を1年前倒し

富士吉田市の整備計画は1年前倒しに。改修のスピードアップを図るため、工事単価が決定する4月から発注準備をし、5月末に工事請負の契約を済ませている。

「今回の3校の改修工事を終えて最も良かった点を伺うと、「できるだけ早く工事の準備をして、5月には業者と契約を済ませたい点です。そのため夏休みいっぱいまで工事が完了しました」(教育委員会 中村猛主幹)

明見小学校の堀内悟校長も、「工事の方々も一生懸命に作業

2学期始業前に工事完了

速やかな発注で

「小便器については、学校という集団生活の中では感染症対策上、洗浄は非接触が望ましいとの観点から自動洗浄にしました。」

と心配する声もありました。「特に男子トイレが心配でしたが、『小便のときも大便器のブースを使用しているよ』と指導することで、現在混雑はしていません。大半の家庭では男子も大便器を利用していますから抵抗もないようです」(青木校長)

また、便座はすべて温水洗浄便座を採用。

「業者さんは子どもたちのために、細かいところを何度もやり直してくれた。子どもたちにもそれが通じたのかもしれない。業者の方々には手紙をもらい非常に喜んでいました。作る側と使う側が思いやりを交わしながらできあがったトイレだと実感しています」(武藤さん)

富士吉田市では、平成25年度から6年計画でトイレ改修を進める予定でしたが、最初に改修を終えた明見中学校の評判が高く、「うちの学校も早くきれいにしたい」という声が高まったことから、改修を1年間前倒しにすることにしました。

市内の小・中学校すべてのトイレ改修が終わるのは平成29年。これから着手する学校のトイレがどんなふう生まれ変わるのか、改修後が楽しみです。

し、2学期に間に合わせてくれました。授業に支障がなくありがたかったですね」と言います。

始業式の日には新しいトイレの前に子どもたちの人だかりができるほど大注目でした。きれいになったトイレを喜んだ明見小学校の児童たちは、施工業者の方々に向けて感謝の手紙(※)を書いて送ったそうです。

「業者さんは子どもたちのために、細かいところを何度もやり直してくれた。子どもたちにもそれが通じたのかもしれない。業者の方々には手紙をもらい非常に喜んでいました。作る側と使う側が思いやりを交わしながらできあがったトイレだと実感しています」(武藤さん)

富士吉田市では、平成25年度から6年計画でトイレ改修を進める予定でしたが、最初に改修を終えた明見中学校の評判が高く、「うちの学校も早くきれいにしたい」という声が高まったことから、改修を1年間前倒しにすることにしました。

市内の小・中学校すべてのトイレ改修が終わるのは平成29年。これから着手する学校のトイレがどんなふう生まれ変わるのか、改修後が楽しみです。

\*明見小学校児童からの感謝の手紙の一部を裏表紙でご紹介しています。